手外科外傷班　吉田史郎

H14年卒手外科外傷班の吉田です。私は手外科を学ぶために、2017年9月よりKentucky州にあるLouisvilleのKleinert Instituteでclinical fellowをしております。Kleinert Instituteは世界で初めてHand surgeryという分野を立ち上げた施設で1960年以降、世界からこれまで1200名ほどのfellowを受け入れてきたHand surgery centerです。Attendingと呼ばれる執刀医は10人ですが、年間手術症例数8500例と驚異的な数をこなすhigh volume centerです。世界で初めて同種手の移植を行なった施設でもあります。その執刀医の下にそれぞれfellowが付き外来や手術を一緒にこなしていきます。朝6時半からmorning lectureが始まり、fellowやスタッフがテーマを決めてプレゼンをしていきます。内容がとても素晴らしく、アメリカ国内のみでなく世界中から集まるfellow達のクオリティの高さを感じます。レクチャーが終わると診療が始まりattendingと一緒に組み、外来を行いORで手術をします。またER専属のon callをシフト制で担当しますが、連続6日間当直あるいは日勤は、日本では経験した事なく、これはかなりハードです。

その他にLouisville University level 1 trauma centerもカバーしていますので、そっちにも1名のattendingと2名のfellowが配属され、多発外傷、gun shot woundなど重度上肢外傷患者を治療しております。その他カダバーを使ったトレーニングも定期的に開催され、カダバーを使用したresearchも可能なのはアメリカの留学の大きなメリットだと思います。今後この経験を持ち帰り、より良い久留米の手外科外傷の発展そして、患者さんの治療に還元されることを信じています。最後にこの場を借り、応援してくれているみなさんに心よりお礼を申し上げます。

